

## コンピュータ基礎 練習問題レポート (10~12章)

2011.7.13 日浦

2011.7.21(木) 13:00 提出締切

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

問1. 以下の空欄を埋めよ.

- ・ ファイルは、データ内容の変動が比較的少なく、長時間に渡って用いられる台帳のような性格の【a \_\_\_\_\_】ファイルと、データが発生するごとにその内容が変化したり、作られたりする、伝票のような性格の【b \_\_\_\_\_】ファイルとに分けられる.
- ・ a は長期にわたって保存されるので、一般的に【c \_\_\_\_\_】ファイルである. それに対し、作業中に一時的に作られ、自動的に削除されるファイルを【d \_\_\_\_\_】ファイルと呼ぶ.
- ・ オペレーティングシステムそのものを構成するファイルのように、コンピュータを管理・運用するためのファイルを【e \_\_\_\_\_】と呼び、一般の利用者は削除や更新をすることが出来ない. それに対しコンピュータの利用者がデータなどを保存するファイルは【f \_\_\_\_\_】ファイルと呼ばれる.
- ・ ファイル処理ではまず、いろいろな媒体（伝票やマークシートなど）に記録されている情報を補助記憶装置に移す【g \_\_\_\_\_】変換が行われる.
- ・ g 変換では、データの誤りを避けるために様々なチェックが行われる. そのなかでも、入力データ（コード）に検査用の数字を付加しておき、計算結果と一致するかどうかによってコードの正しさを検査する【g \_\_\_\_\_】チェックは、受験番号などによく用いられている.
- ・ 一つのファイルの中に複数格納されている、データの塊を【h \_\_\_\_\_】と呼ぶ.
- ・ h をファイル中に格納する方法として、単に先頭から順に格納したものを【i \_\_\_\_\_】編成ファイルという. これは全ての h を順に処理する場合には良いが、特定の一部の(少量の)h を処理するには向いていない.
- ・ キーの値から格納場所（アドレス）を計算して h を取り出せるようになっているファイル編成を【j \_\_\_\_\_】編成ファイルという.
- ・ i 編成ファイルに索引を設けたファイルを【k \_\_\_\_\_】編成ファイル



- ・ 情報資産を脅かす要素を【a           】と呼ぶ。a には災害のような自然に由来するもの、ミスや事故などに寄って生じるものの他に、故意(悪意)によって引き起こされるものがある。
- ・ a には、他人として計算機を利用したり情報を発信・取得しようとする【b           】、大量の通信によりサービスを妨害する【c           】攻撃、不正を目的に作られたソフトウェアである【d           】や【e           】がある。
- ・ 不正侵入やデータの漏えいを招くような情報システムの欠陥を漢字3文字で【f           】と呼び、その読みは【g           】である。
- ・ 何らかの役に立つプログラムに見せかけて、不正を働くために作られたプログラムを【h           】と呼ぶ。
- ・ 暗号化方式には、暗号を作成する鍵と、暗号文をもとに戻す復号に用いる鍵が共通の【i           】暗号方式があり、この場合、鍵は秘密にせねばならない。
- ・ それに対し、暗号化に用いる鍵と復号化に用いる鍵が異なっていて、受信者が秘密にしている復号鍵に対応する暗号鍵を公開する。これを【j           】暗号方式と呼び、送信者は暗号鍵を用いて通信文を暗号化し受信者に送る。この場合受信者は自分しか知らない復号鍵で元の文を得ることができる。
- ・ 理論的にはj暗号方式に近いが、暗号鍵を秘密にし、復号鍵を公開することで、内容が改ざんされていないことを保証するものがある。これを【           】と呼ぶ。この場合、暗号鍵は秘密であるので、あらかじめ公開している復号鍵で元の文に戻せるようなデータを作ることができるのは本人だけであるということになる。つまり、bを防ぐことができる。

問4. 以下の問に答えよ。

- ・ 100MB のファイルを 10Mbps の回線で送るとき、通信が完了する最短時間は理論的に【           】秒である。